

平成28年度 経営発達支援計画の実績（事業評価）

自己評価 A:大変効果があった B:まあまあ効果があった C:あまり効果がなかった
D:まったく効果がなかった

I 地域の経済動向調査 総合評価D

一部の業種において経営課題の抽出と景況調査を行ったが、個別の巡回・窓口相談指導時に活用がうまく行かなかった。

- ・巡回相談指導870件 窓口相談指導627件 合計1,497件（前年1,463件）
- ・経営計画作成 14企業

II 経営分析・需要動向調査 創業評価B

北海道よろず支援拠点と連携して地域資源活用型ハンズオン支援専門家派遣を行い、企業経営分析及び原価計算及び需要動向について相談指導を行うと共によろず拠点支援事業個別相談を行った。

- ・地域資源活用型ハンズオン支援1企業
- ・よろず拠点支援事業相談会11企業

III 事業計画策定・実施支援 総合評価C

小規模事業者持続化補助金申請に伴う経営計画作成支援を重点に行い2件の採択事業者及び市補助金申請事業者4件について計画作成から実行及びフォローアップの巡回・窓口相談指導を行った。

- ・小規模事業者持続化補助金 申請9件 採択2件
- ・富良野市中小企業振興総合補助金事業拡大支援事業 4件
- ・ものづくり補助金 1件

IV 創業・第二創業（経営革新支援） 総合評価A

創業希望者や第二創業者に対する事業計画及び資金調達の支援を行うために「創業・一日公庫相談会」を毎月行った。

また、創業者及び第二創業者の課題解決と経営ノウハウの習得と販路拡大を図るためのビジネス交流会を日本政策金融公庫旭川支店並びに旭川産業創造プラザと連携して2回実施した。（10月14日、11月21日）

- ・創業・一日公庫相談会 毎月 12回実施 相談件数 41件
- ・起業家フォーラム2016 IN FURANO 2回 開催（創業及び第二創業者ビジネス交流会）参加者37名
- ・創業・第二創業相談13件（うち創業者13件、開業したもの9件）

V. 小規模事業者販路開拓支援 総合評価B

地域の資源を活用した新商品等の開発及び販路開拓支援として小規模事業者持続化補助金及び市事業拡大支援事業やものづくり補助金を活用した新商品やパッケージのリニューアル商品の周知や販売会・展示会出展と支援を行った。

- ・新機械設備導入 4企業
- ・新商品開発 2企業
- ・販売・展示会出展企業3企業（北海道ビジネス EXPO 出展1企業、日本百貨店しょくひんかん出展1企業、メイドイン北海道・北海道物産ショップ1企業）

VI. 支援能力向上のための取組み 総合評価C

支援機関向けの研修会の参加や連携機関との情報交換を行い職員の資質向上に努めた。また、経験

の少ない若手職員に OJT による支援先の経営計画書作成とスキルアップを図った。

VII. 事業の評価及び見直しをするための仕組み 総合評価 C

1 月に金融財政委員会を開催し事業の実施等の報告を行うと共に平成 29 年度の計画を示し、意見聴取を行った。また、その結果を正副会頭会議へ報告した。

今後は有識者等による事業評価見直し提案を年 1 回以上行い P D C A サイクルにより伴走型支援事業の確立と経営発達支援計画を推進する。